

## 第3学年3組 英語科学習指導案

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-09-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中道, 茂美 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00025748">http://hdl.handle.net/10297/00025748</a>

# 第3学年3組 英語科学習指導案

指導者 中道 茂美

1 学習のくくり 「My English」(47時間)

2 共通テーマを軸とした教科カリキュラムの構想図  
英語科3年間でめざす姿

言語や文化に対する興味・関心をもち、ひと・もの・こととのつながりを広げ、深めるために、英語で主体的にかかわろうとする生徒

英語科3年間の共通テーマ

英語を学ぶことは、自分の人生をどのように広げるのだろうか

上段：学習のくくり名

下段：共通テーマ

## ⑧ 3年 My English

英語を学ぶことは、自分の人生をどのように広げるのだろうか

### 日本と外国とのかかわり

#### ⑦ 3年 Discussion

外国人との異文化交流を通して、どのように人と人のつながりを広げていくことができるだろうか

#### ⑤ 2年 Japan Now

英語を使い、日本について、世界に発信するためには、どのようなことをすればよいだろうか

### 自分と周囲のひと・もの・こととのかかわり

#### ④ 2年 My Special Memory

英語でよりよいやり取りをするために、話し手としてどのように考えや気持ちを届け、聞き手としてどのように受け止めればよいだろうか

#### ③ 1年 My Treasure

自分の英語の流暢さや正確さを高め、相手に分かりやすく伝えるためには、どのようにすればよいだろうか

#### ② 1年 My Precious Person

英語で自分が伝えたいと思っていることを、相手に理解してもらえるようにするためには、どのようにすればよいだろうか

### 自分自身とのかかわり

#### ⑥ 2年 My Dream

英語で自分の未来を語り、聞き手を惹きつけるためには、どのようにすればよいだろうか

#### ① 1年 My Self-introduction

英語による自己紹介において、自分自身を伝え、相手のよさを知るためには、どのようにすればよいだろうか

3 学習のくくり「My English」について

(1) 学習の構想表

学習活動 (下線部は本時の学習場面)		育成する資質・能力の要素と階層レベル							
		知識		スキル			情意		
		A 内容	B 方法	C 認知	D 身体	E 社会	F 興・関	G 追究	
ガイダンス (2)	<b>《共通テーマと共通課題の理解》</b> ○これまで学んできた学習のくくりを通して英語で何ができるようになったのかを振り返り、自分が伝えたいことについて考える。(1) ○実際の英語のプレゼンテーションを見て、自分の考えを伝える方法について考え、追究活動に向けてどのようなことを学んでいけばよいかの見通しをもち、共通テーマと共通課題を理解する。(1)		3		3				
			4		4	-	3	3	3
つかむ学習 (33)	後置修飾 (5)	○関係代名詞や分詞の後置修飾の形・意味・働きを説明し合い、使い方や使用場面について理解する。(3)	1	1	1			1	
		○関係代名詞や分詞の後置修飾を用いた言語活動を行う。(2)	2	2	2	-	2	2	2
	世界の国・地域 (9)	○世界の様々な国・地域とその文化について書かれた英文を読み、その内容を理解する。(5)	1	1	1			1	
		○浜松市在住の外国人の出身国についてコラムを書く。 (本時1/4)	2	2		-	2	2	2
		3		2			2	2	
人々を追う (9)	○キング牧師について書かれた英文を読み、人種差別や人権問題について関心を高め、その内容を理解する。(5)	1	1	1			1		
	○自己実現に向けて努力している人物や、他者や世界の幸せのために努力している人物について紹介し合う。(4)	2	2		-	2	2	2	
		3		2			2	2	
English for Me (10)	○「English for Me」というテーマについての意見文を読み、実社会の中での多様な英語とのかかわりについて理解する。(6)	1	1	1			1		
	○自分自身と英語のかかわりについて、これまでに経験したことを挙げながら話し合う。(4)	2	2		-	2	2	2	
			3		2			2	2
追究する学習 (10)	<b>《追究課題の設定》</b> ○共通課題を受けた追究課題の設定(1) 「○○ for me」というタイトルでどのようにプレゼンテーションをするかについて、共通課題にもとづき追究課題を考える。		3		3	-	3	3	3
	<b>《追究活動》《交流活動》</b> ○追究活動では、プレゼンテーションを作成する。級友から質問をしてもらったり、文法や構成、伝え方について助言し合ったりすることで、自分とは異なる視点からとらえ直し、より伝わりやすいものに改善する。(7) ○交流活動では、プレゼンテーションの後、聞き手と質疑応答をしながら、お互いの考えを膨らませていく。(2)		3		3	3	3	3	3
つなげる学習 (2)	<b>《交流活動》《振り返りの記述》《振り返りの記述の交流》</b> ○本学習のくくりの学習を振り返り、共通テーマに対する自己の最適解をまとめたり、仲間との交流を通して考えを深めたりする。(2)								
	<b>【期待する生徒の表れ】</b> ・自分と英語、他者、世界とのかかわりという視点をもって、英語でプレゼンテーションをしている。 ・相手の情報を自分の事として受け取り、質問や感想を英語で伝えている。 ・これからの人生において、英語を学んでいくことの重要性に気づき、どのように英語と向き合っていくかについて、自分の考えを記述している。 など		4		4	-	3	4	4

## (2) 本学習のくくりでめざす生徒の姿とその姿に迫るための具体的な手だて

本学習のくくり「My English」は、三年間の集大成となる学習のくくりである。そこで、本学習のくくりでは、これまでに学んできた「自分自身とのかかわり」「自分と周囲のひと・もの・こととのかかわり」「日本と外国とのかかわり」という視点を踏まえ、生徒自身にこれまでの英語の学びを振り返らせる。そして、英語の学習を通して気づいたこと、自分と周囲のひと・もの・ことを英語や外国といった異文化の視点からとらえ直して発見したことや、英語は今の自分にとってどのようなものであるか、今後英語とどのようにかかわっていくか等について伝え合わせる。これらの学習を通じて、他者の話から新たな視点や気づきを得ることができる場とし、お互いに考えを膨らませていける機会としたい。

そこで、本学習のくくりでめざす生徒の姿を次のように設定する。

自分と英語、他者、世界とのかかわりという視点をもって、自分の英語で自分の考えを他者に広めようとし、これからどのように英語と向き合っていくかを追究しようとする生徒

本学習のくくりでは、上記のめざす生徒の姿に迫るために、次の学習活動に取り組ませる。

まず、ガイダンスでは、これまでの英語学習を振り返り、どのようなことが伝えられるようになったかを振り返らせる。そして、英語で他者に向けて伝えてみたい自分の考えについて作文をさせる。また、TED (Technology Entertainment Design) の動画を視聴させ、人々がどのように自分の考えを世の中に広げようとしているかについて考えさせる。さらに、本学習のくくりの共通テーマや共通課題を提示することで、おぼろげながら学習内容を理解させる。また、学習計画表を示し、今後の学習の見通しをもたせる。

次に、つかむ学習では、ペアで新出文法について自分でまとめたことを説明し合い、実際にまとまりのあるやりとりを行わせ、基礎的・基本的な知識を習得させる。また、学習のまとまりごとに読み深めた紹介文、説明文や意見文に関連したプロジェクト型の課題に、個人や班で取り組ませる。生徒自身が興味や関心のあることについてまとめたことや考えたことを意見交換させ、主体的・対話的な学習へと誘う。

追究する学習では、共通課題を受け、個人で追究課題と追究活動の計画を立て、課題への取り組みを通して共通テーマの最適解に迫らせていく。つかむ学習で身につけたことや共通テーマに対して気づいたことを生かして、自分の思いが込められたひと・もの・ことについて「○○ for me」というタイトルでプレゼンテーションを行う。発表前には、内容や発表の仕方に対して級友から意見をもらい、自分にはなかった様々な視点を取り入れることで、情報の受け取り手の立場の意見を取り入れながら発表をよりよいものにしていく。そして、プレゼンテーションを行った後は、質問や感想を伝え合う。このような一連の言語活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現させる。

また、学習のくくりを通して、学習内容のまとまりごとに、共通テーマに対する気づきのメモを記入させる。そして、つなげる学習では、積み上げてきた気づきのメモをもとに、共通テーマに対する自分なりの最適解を見いださせる。さらに、見いだした最適解について級友と交流させることで、これからの人生において、どのように英語と向き合っていくのか自分なりの考えを深めさせる。

## (3) 本学習のくくりの共通テーマと共通課題

共通テーマ (本質的な問いの 階層レベル)	英語を学ぶことは、自分の人生をどのように広げるのだろうか (レベル4)
共通課題	FED (Fuzoku English Design) で、自分の英語を使って自分の考えを他者に広めよう。

## 4 本時について (本時 13 / 47)

### (1) 本時の目標

【表現の能力】	浜松市在住の外国人の出身国について、既習の文法事項を用いて、写真やキーワードをもとに、簡単な説明文を書くことができる。 (A2・B2×C2)
---------	--

(2) 学習過程

●生徒の活動 ※期待する生徒の表れ	・指導上の留意点 ○支援 ◇評価
<p>●与えられた題材について、指定された文型を用いながら、ペアで2min. Talkを行う。</p> <p>●浜松市在住の外国人が多い国のランキングを知る。 (1位ブラジル 2位フィリピン 3位中国 4位ベトナム 5位ペルー)</p> <p>●学習課題を確認し、本時の見通しをもつ。</p>	<p>・指定する文型が書かれた札をペアに一組ずつ用意する。 ○会話が進まないペアには、AAA (Action, Add, Ask) を使って会話をするように助言する。</p>
<p>浜松市在住の外国人の出身国について、今までに習った文法を使って、写真やキーワードをもとに簡単な説明文を書こう。</p>	
<p>●班ごとに指定された1カ国について、提示された写真やキーワードをもとに、その国を説明する文を書く。</p> <p>●同じ国について、教科書やワークシートを参考に、さらに書き加える。</p> <p>●同じ国を担当した班員とペアを組み、説明文を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※浜松市在住の外国人の出身国について既習の文法事項を用いて、写真やキーワードをもとに、簡単な説明文を書いている。</p> </div> <p>●次時の予定を確認する。</p> <p>●本時の学習を振り返り、共通テーマについて考えたことや気づいたことを学習計画表の「気づきのメモ」に記入する。</p>	<p>・教科書や辞書などに頼らずに書くように指示する。 ・付箋に一文ずつ書くように指示する。 ○文がうまく書き出せない生徒には、写真の説明から書き始めるように助言する。</p> <p>・辞書に頼らず、これまでワークシートに書きためてきた文や教科書の表現を利用しながら書くように指示する。 ○文がうまく書き出せない生徒には、利用できそうな既習表現を示し、書き換えてみるように助言する。 ○説明文の内容を深めさせるために、関係代名詞や分詞の後置修飾を使っている生徒の文を紹介し、参考にしようながす。</p> <p>・付箋に書いた文を並び替えて説明文を作るように指示をする。 ○説明文の作成がスムーズに進まないペアには、同じ写真やキーワードについて書かれた付箋を整理し、内容の相違に応じて文を選択したり順番を変えたりすることで、説明文の作成に取り組むように助言する。 ○説明文の作成がスムーズに進んだペアには、新たな写真やキーワードを提示し、内容をさらに充実させるようにながす。</p> <p>・教員の作った説明文の例を提示することで、今後の活動について見通しをもたせ、次時まで調べておくことや準備しておくことを確認するように指示する。</p> <p>◇本時の目標について、※印のような生徒の表れが見られたか。</p>